

小倉記念病院 循環器内科日より

つながる

Vol.54

2022.6月

当院 循環器内科はSASと呼ばれる睡眠時無呼吸症候群の治療にも取り組んでいる。

この病気は、睡眠時に呼吸が止まるため、血液中の酸素濃度が低下し、過眠や高血圧などを引き起こす。特に中年男性、肥満の方、いびきをかき方がなりやすく、自覚症状がないために家族の指摘がなければ気づきにくい病気だ。場合によっては狭心症、不整脈、心不全、大動脈乖離などを引き起こすことがある。

日本国内における潜在患者数は約500万人と推定され、そのうちマスクから空気を送り気道が塞がらないようにするCPAP治療を受けているのは、50万人程度に過ぎない。

循環器の病気は最終的に心不全につながる。心不全を食い止めるには、あらゆる心疾患の早期発見が必要不可欠だ。当院では睡眠時無呼吸症候群の早期段階から近年では心不全の緩和ケアまでトータルで治療を行える体制を築いている。



第63回

小倉循環器内科セミナー

2022年 6月28日(火) 18:00~18:30



睡眠時無呼吸症候群について



座長

小倉記念病院 副院長 循環器内科主任部長 安藤 献児

講師

小倉記念病院 循環器内科

副部長 森永 崇

参加方法



Zoomによる
web参加のみとなります!

Zoomの事前登録は不要ですが、
事前登録しておくことでリマインドメールが届きます。



PCの場合

小倉記念病院ホームページから①病院案内→②市民公開講座・勉強会・研究会のご案内→③勉強会・研究会→④Zoomボタンをクリックで参加が可能になります。



スマホの場合

右記のQRコードを読み込んで
いただくと参加が可能になります。

